



## ココイケの水の循環

ココイケでは池の水位が低下し、水の循環が止まるようになってしまいました。気づいた時には水を入れていますが、大きな魚にとっては酸素が足りず、きびしい状態です。しばらくは小魚を中心に池の管理をしていきます。



水が少なくても、そうじは大切！

そうじ後のココイケ

## 募集!! ココイケサポーターズ



ココイケサポーターズは、野川博士のいそべ隆さんに顧問となってもらい、活動を行っています。

卒業した6年生が看板を作ってくれたココイケ。水の循環が上手くいかず、残念ながら大きな魚は飼えなくなっていました。サポーターズは池のそうじ、イベント参加と活動を続けています。



ココイケくん

## 今年のイベント参加

SHC フェスタ、サマーフェスタ、ランチ調布の「コモパキッズ」「ふじみでひんやり」、神代団地の「団地祭」にのがわミニ水族館で参加しました。スペースがある場合は魚つりゲームも行っています。お手伝いの子どもたちは一生懸命に呼び込みや受付をしました。ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました。



サマーフェスタの魚つりゲームの様子

そうじの後はガサガサで生き物採集



## カメのユウ君のケガ

人に慣れていてココイケで人気のクサガメのユウ君。10月に左手に大きなケガをしているのが発見されました。おそらく、ハクビシンやタヌキによるものではないかと思われます。幸い元気に動いていますが、引き続きサポーターズが様子を見ていきます。



ユウ君、反対の手をケガしています



## サポーターズ向けのイベント

生き物が好きなサポーターズに向けて、野川や深大寺、時には調布の外に出て、海や山の水辺で生き物に出会えるイベントも行っています。



地引網（9月）

カエル（アズマヒキガエル）合戦の観戦会（3月）

ココイケでは、**環境委員のみなさんがえさやりをしてくれています。**みなさんの協力で生き物たちは、今日も元気にすごしています。いつも本当にありがとうございます！

**お願い**  
ときどきココイケに石が投げこまれることがあります。石の音や水しぶきは、生き物をおどかせてしまいます。池はみんなで守る場所です。静かに見守ってくださいね。

### 今後の予定

月に一度、そうじと生き物採集を行っています。今年度は循環の不具合から、マスのつかみ取りの開催を見送っていますが、イベント参加は引き続き行っています。

調和小校庭の片隅にあるココイケの管理をしているのが、ココイケサポーターズです。PTA有志によるココイケサポーターズは、土曜日または日曜日の午前中にココイケ清掃や野川のごみ拾い、生き物採集を親子で行っています。学校内のちょっとした修繕も行うことも!?

専門的な知識や特殊な道具は不要です！子どもたちの学校にぜひお力をお貸しください。また、サポーターズは地引網や潮干狩りなどのちょっと変わった自然・生き物系のイベントにも参加していきます（天候などによりイベントが開催されないこともあります）。自然や生き物が好きなお子さんに特におすすめです。

ご興味のある方は、まずは見学へどうぞ。

毎月の活動日程は、LINEで連絡します。毎回参加できなくてもOK。ご都合の良い時にご参加ください。男女問わず、幅広い年齢の子どもたちと一緒に活動しています。

ご興味のある方は、右のQRコード（Google フォーム）より、お申込みください。

活動については、調和小ホームページ「本校の特色」でも紹介しています。

<https://www.chofu-schools.jp/chowa-sho/tokushoku/2021-1005-0850-47.html>

※見学も右記にお申込みください。

※PTAの活動です。お子様だけの参加はできません。

## お申込み

下記 QR コードのフォームより、ココイケサポーターズ体験参加をお申し込みください。



<https://forms.gle/a74eg3ezkNQ6MSy6>

※PTAの保険の都合上、参加は調和小学校在籍児のみとなります。他校の方、未就学児の参加はご遠慮ください。

※2日経っても返信がない場合は、下記メールアドレスまでご連絡ください。  
cocoyake2016@gmail.com

ココイケ世話人代表  
車田 いずみ



# のがわミニ水族館のこと

「のがわミニ水族館」を知っていますか？

それは、野川の生き物を水そうに入れた小さな水族館。

地域のイベントで見かけたことがある方も多いのではないのでしょうか。

今回はそんな「のがわミニ水族館」について聞いてみました。

「のがわミニ水族館」について聞いてみたよ。

**Q.1**  
どうして「のがわミニ水族館」をやっているの？

理由はひとつじゃありません。一緒に考えてみてほしいです。たとえば——  
・近くでよく観察できるから。  
・見ていると心がほっとするから。  
水そうの前で感じたことを、自分の言葉で話してみてください。



**Q.2**  
生き物は、どうやって集めているの？

サポーターズが野川で見つけて飼っている生き物が中心です。地域ならではの生き物の命も、大切にしたいと思っています。自分でつかまえた生き物を持ち寄って展示しています。卒業生もお手伝いをしてくれています。



**Q.3**  
イラストや写真じゃなくて、水そうを並べるわけは？

水そうの中は、生きて動く「ちいさな自然」です。魚が泳いだり、カニが動いたりする姿に、人が引きよせられるように集まってきます。近くで見ると、色や形、動きがよくわかります。「これなに？」と話がはずむこともあります。つまり見に来てくれた人と会話しながら生き物に興味を持ってもらうことができるからです。



**Q.5**  
なぜ名前プレートを手作りするの？

名前プレートを作り、正しい名前・住んでいる場所・観察ポイントを自分で調べて書くうちに、「観察する力」が育ちます。調べたことをどう表現するかを考えることも、よい学びにつながるからです。



**Q.7**  
私たちにできることはありますか？

もちろんあります。観察・記録・名前プレートづくり・水そうの片づけなど、できることはたくさんあります。いのちを大切にしながら学ぶきっかけに、まずはココイケのそうじに来てみませんか？



**Q.4**  
水そうに生き物を「とじこめる」のは、かわいそうじゃない？

その気持ちはとても大切です。だからこそ、できるだけ生き物に合った環境を整える工夫をしています。野外では食物連鎖の中で食べられてしまうこともあります。希少種に気がつけば、私たちが捕獲して展示する生き物は自然界ではほんのわずかです。命の大切さを感じながら育てることで、生き物が住みにくくなる環境破壊などの問題にも目を向け、自然を大切に人が増えるきっかけになればと願っています。



**Q.6**  
これから、どんな水族館にしていきたいですか？

スタッフや子どもたちが自分で飼育した生き物を持ち寄り、来場者に説明できる場を増やしたいです。街のあちこちに“マチナカ水族館”が広がり、自然を好きになる人が増えていく——そんな未来を思い描いています。



みんなが「のがわミニ水族館」を見て、自然に関心をもってくれたらうれしいな。ココイケサポーターズに入って一緒に活動してみませんか？

